

かもめ教室 2016年度みんなで発表会

かもめ教室で1年間に学んだことをスピーチや音読、などなどでお互いに発表し合います。

日時：2017年3月25日（土） 10:00～13:30

会場：金沢区公会堂多目的室（金沢区役所 2階）



発表の後、ゲームなどで交流します。お友達、学校の先生、地域の方々、ぜひ一緒に楽しんでください。

～ボランティア募集～

日本語教室で、日本語支援をしてみませんか？

地域では、日本語がわからないため、不自由な生活をしている外国人がたくさんいます。横浜市大の中の日本語教室では、日、火、木、土の午前中、4日間教室を開いています。ボランティアが不足しています。特に日曜日に参加していただける方を求めています。

【参加条件】

日本語のボランティアの講座を履修なさった方。または1年以上の日本語支援の経験のある方。

ラウンジの広報及び言語翻訳活動をしていませんか？

情報広報部の主な活動を紹介します。

1. ラウンジニュースを編集し活動を外国人を含む地域の人々に伝えます。
2. ホームページを編集し、ホームページにより情報を発信します。
3. 通訳・翻訳：行政・学校などからの依頼だけではなく、個人的な依頼にも対応します。
4. 窓口部、日本語部、子ども学習支援部との連携活動もあります。

1対1の支援が願い！

現在、子ども学習支援部が支援するかもめ教室の児童・生徒の在席数は4教室合計で54名です。それに対して、サポーター数は25名程度で十分な支援が行えない状況です。

☺子どもによりそって一緒に学習を進めてくださる方、ぜひ活動にご参加ください。

☺4教室ありますのでご自分の都合のつく教室で活動ができます。

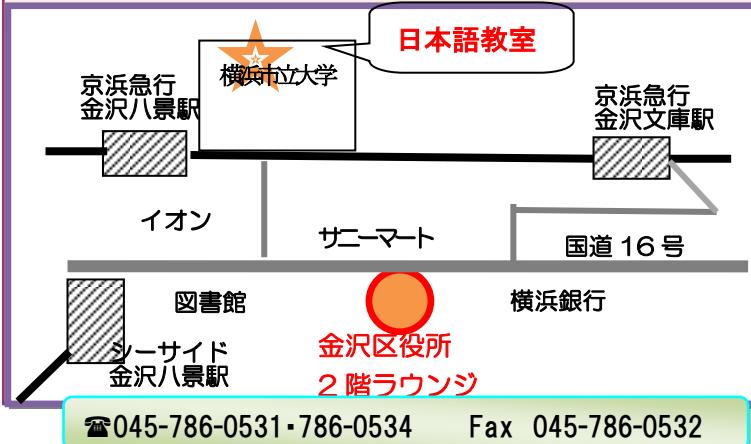
～各部に関する詳細はラウンジ窓口までお問い合わせください～

★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》月・火・水・木・金・土 9:00～17:00

日、祝日、年末年始は休館

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1
金沢区役所 2階



➤多言語で相談に応じます。

一月曜日～土曜日 9:00-17:00 英語

Monday thru Saturday, 9:00-17:00: English available

一火曜日 13:00～17:00 スペイン語

Los Martes por la tarde(13:00～17:00) en Español

一水曜日 9:00～13:00 中国語

星期三 9:00～13:00 中文

➤〔日本語教室〕

場所：横浜市立大学 八景キャンパス 交流室 1,2

日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00-11:30

➤〔かもめ教室〕

土曜日 10:00-11:30 横浜市立大学交流室 2

火曜日 16:00-18:45 オフィスかなざわ

木曜日 16:00-18:45 カナカツ

金曜日 15:00-16:30 並木北コミュニティハウス

☎045-786-0531・786-0534 Fax 045-786-0532



金沢国際交流ラウンジニュース

No. 42

2017年1月20日発行

発行 金沢国際交流ラウンジ

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1 金沢区総合庁舎 2階

TEL:045-786-0531,0534 / FAX:045-786-0532

Email: klounge@shore.ocn.ne.jp

URL: <http://www.kanazawalounge.org/>

みんなで考える 多文化共生

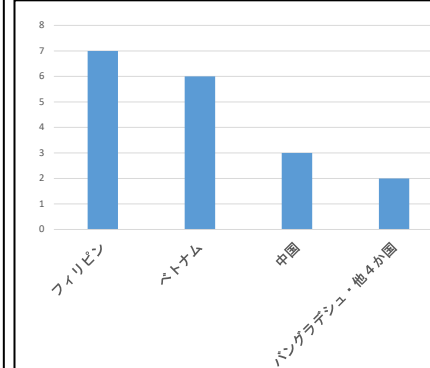
横浜市には8万人を超える外国人市民が住んでいて金沢区も約2,500人（2016年11月末現在）います。地域や学校でさまざまな国籍、多様な文化を持つ外国の方と出会うことがあるでしょう。「多文化共生」ということばを聞いたことがありますか。

ラウンジでは地域に住んでいてどのように感じているか、外国人には主に日本語教室で、日本人には窓口、区役所、イベントで聞いてみました。その中から、これからどのようにすればみんなが暮らしよい生活になるか、また外国人が地域で何かできることはないか、考えていきたいと思います。

ラウンジ日本語教室で外国人に聞きました

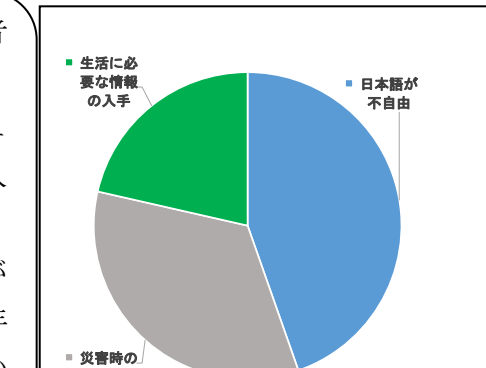
回答 35人

Q1 出身国はどこですか？



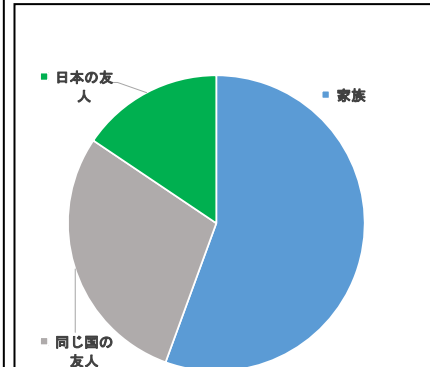
・アジアの出身者が多かった。
・バングラデシュなど5か国が2人ずついた。
・半数以上の方が日本に住んで1年以下と答えていた。

Q2 日本に住んで困っている事は何ですか？



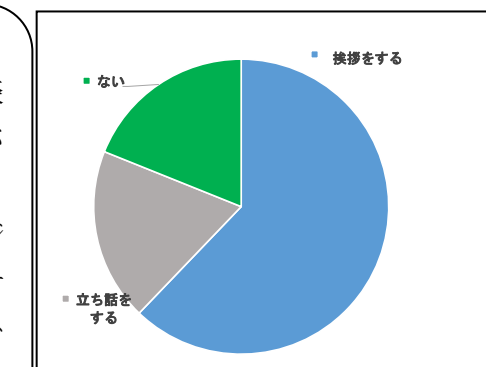
その他の意見
・役所や病院で言葉が通じない。
・仕事を探すのが大変。
・学校での生活や近所に住む人との付き合い。

Q3 困っている事・心配な事は誰に相談しますか？



・家族や同国の人、日本の友人に相談するという意見が多かった。
・役所やラウンジ窓口などを利用すると答えた人は少なかった。

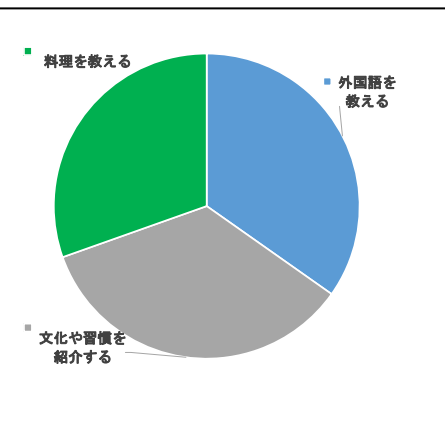
Q4 近所の日本人と付き合いがありますか？



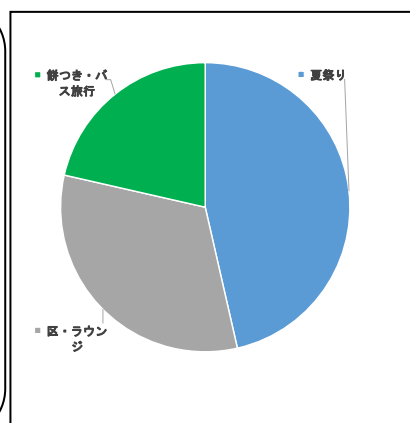
・ほとんどの人が近所の人と付き合いがあると答えていた。
・食事に行くほど親しくしていると答えた方もいた。

金沢国際交流ラウンジは、金沢区役所の委託を受け、金沢国際交流ラウンジボランティア会が運営しています。

Q 5 地域のためにできる事・したい事がありますか？ Q 6 地域のイベントに参加した事がありますか？



・外国語を教える
・料理・文化を教えるなどの意見が多かった。
・イベントを考える、本の読み聞かせをするという意見も少数あった。

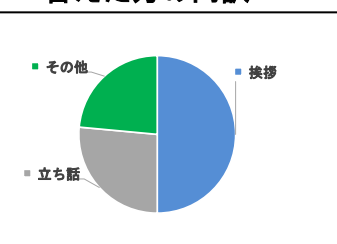
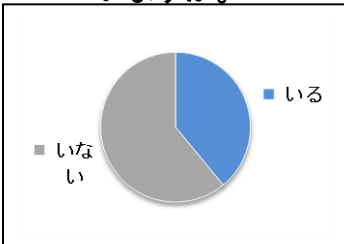


・地域のいろいろなイベントに参加する方が多かった。
・イベントがあることを知らない人もいた。
・知っていても参加しづらい人もいた。

日本人に聞きました

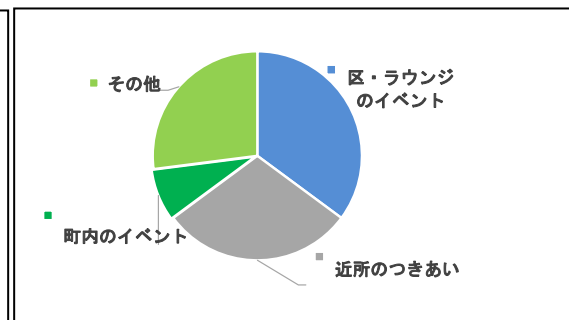
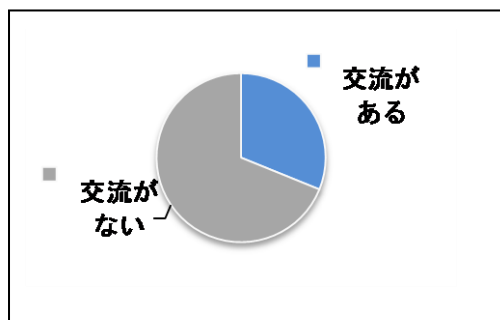
回答107人

Q 1 近所に外国人が「いる」と答えた方「話したことがある」と話をしたことがありますか。 答えた方の内訳



・近所に外国人がいたのは40人(38%)であった。
・34人(94%)と多くの人が話をしていた。
・挨拶をすると答えた人は17人(52%)と一番多かった。

Q 2 地域の外国人と交流がありますか。「交流がある」と答えた方内訳



・地域の外国人と交流があるのは34人(31%)だった。
・区・ラウンジのイベントが13人(39%)、近所のつきあいが11人(33%)と多かった。

Q 3 交流するためにどんなイベントがあったらいいですか。

食べ物紹介、料理教室、食事会など「食文化」に関する意見が多数あった。
また「外国人と日本人と一緒に何かをする」という提案も多く寄せられていた。

Q 4 地域のイベントに参加してもらうためにどうしたらよいと思いますか。

- ・もっと宣伝する。(ポスターを貼る、チラシを配る、英語で書く)
- ・町内会や自治会と連携してイベントを行う。
- ・身近な人に声をかける。(外国人、日本人)



次号にむけて

外国人は地域のお祭りやイベントのことを知らなくて参加したことがないという意見が多く、日本人がちょっと声をかけるだけでも参加するきっかけになるかもしれません。

日本人は外国人と接する機会がない、交流する場、文化を学ぶ機会が欲しいという声も多くありました。これらをもとに、どのようにしたらお互いをより理解できるか、また外国人が地域参加できるにはどうしたらよいか、ラウンジニュース43号でさらに考えていきたいと思います。

ラウンジフェスティバル2016を終えて

11月23日、横浜市立大学 YCU スクエアで金沢国際交流ラウンジフェスティバルを行いました。今回はアジア開発銀行年次総会のプレイベントとして開かれアジアに関係する出演団体、民族衣装などにぎやかでした。

ステージでは外国人成人日本語スピーチ、小中学生の自信に満ちた発表と2部は、インドネシア、中国の舞踊、フィリピン、モンゴル、ベトナム、ギニアの楽器演奏、ペルーのこどもたちの踊り、市大生の演技、演奏、高校生ダンスなど異文化を感じるすばらしい4時間でした。
出演者を含め387人の参加(外国人110人)



練習の成果を発表



インドネシア・バリを感じよう



ばとうきん ひびき 馬頭琴の響き



ひろげよう 仲間の輪



これ 似合うかな



なるほど！“ごみ”の分け方

アンケートより

- ・地域で暮らしてどう感じているかのスピーチの内容がよかった。
- ・演奏、踊りはじっくり楽しめた。
- ・会場が平坦で演奏、舞踊を間近で見られた。
- ・司会など市大生がかかわっているのは頼もしいと思った。
- ・ごみ分別クイズではルールがよくわかった。(地域の小学生)

日本語ボランティア“ブラッシュアップ研修会”報告

11月14日、21日の2回にわたって日本語ボランティアブラッシュアップ研修会が「いきいきセンター」で開催されました。テーマは、「コミュニケーションのための文法～おしゃべりをしながら文法を身につけるには～」、講師は岩田一成先生(聖心女子大学)でした。受講者は各回30余名。1回目は「文法編」、2回目は「実践編」でしたが、学習者の「話す」意欲を喚起する方法を学び、好評でした。「どうすれば外国人と日本語でおしゃべりができるか?」「どうすればおしゃべりをしながら文法を身につけてもらえるか?」の回答が、この2日間の講義から見出せたと思います。「ボランティア側がしゃべり過ぎず、名司会者であれ」という講師の言葉がこれからの活動へのよいヒントになったと思います。



ポイントを聞く



実践に結びつけよう